

経営比較分析表（令和6年度決算）

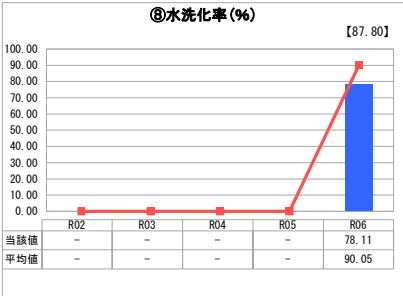
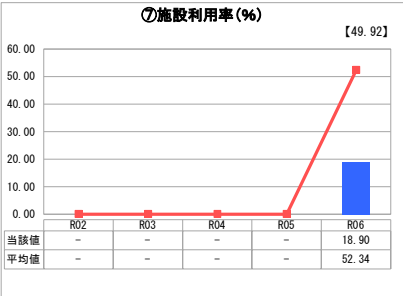
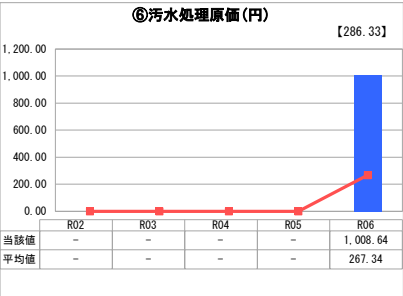
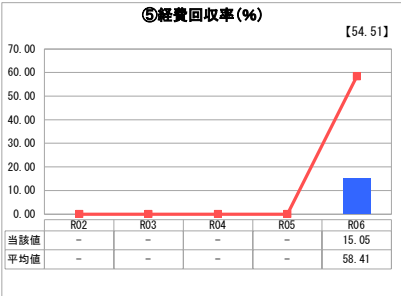
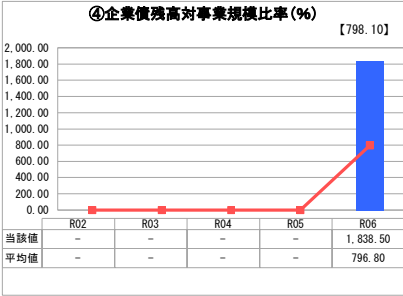
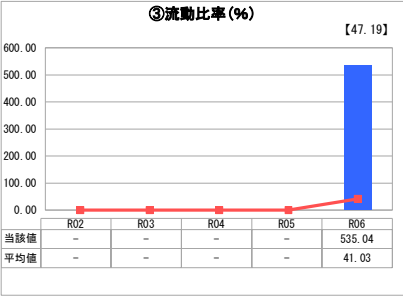
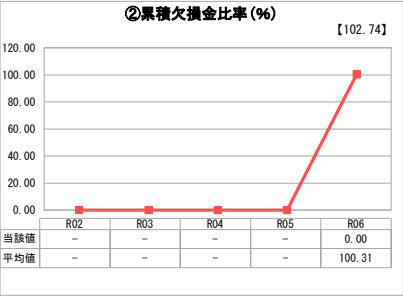
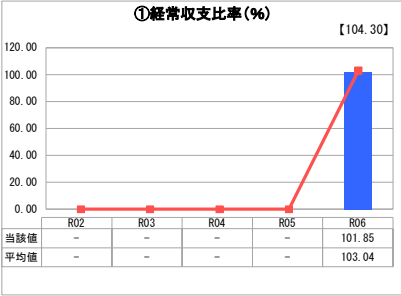
群馬県 片品村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	85.47	15.39	90.94	1,900

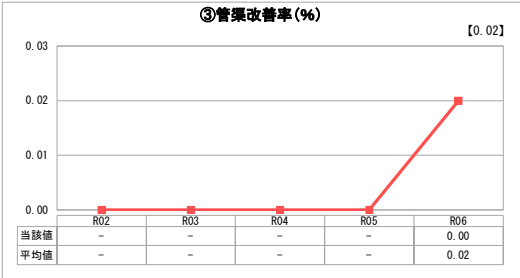
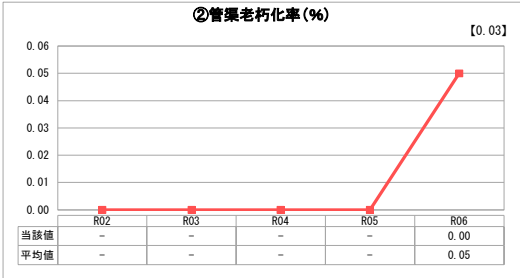
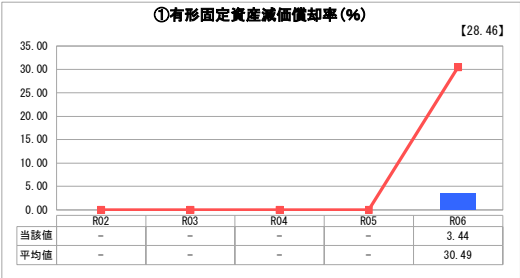
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,928	391.76	10.03
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
594	0.34	1,747.06

■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①農業集落排水事業において、総収入と総費用を比較する経常収支比率では、100%を上回っているが、他会計繰入金に依存しているため、使用料の確保と維持管理費の削減を進める必要がある。

③流動化比率は平均値を大幅に上回っているが、一般会計からの補助金の繰入によるところが大きいと思われる。

④企業債残高対事業規模比率は、平均値を大幅に上回っている。原因は、施設の老朽化に伴う処理場の修繕費に係る企業債が増加したためと考えられる。

⑤排水処理費用と下水道使用料の関係を表す経費回収率は、平均値を下回っている状況にある。排水施設の更新投資時期を迎え、機械更新等の排水処理費用が年々多くなっている。

⑥汚水処理原価で見ると、料金対象になる1立方メートルあたりの汚水処理費用は、多額の減価償却費や有収水量減少等の影響により平均値を上回っている。今後は、維持管理費の削減や接続率の向上を図っていく必要がある。

⑦排水処理能力に対する排水処理水量の割合を示す排水の施設利用率は、下水処理人口が少なく平均値を大幅に下回っているが、季節によって需要変動がある。今後も効率的な汚水処理運用及び施設運用を図り、接続率を増やし利用率を向上させる必要がある。

⑧排水処理区域内人口に対する排水処理人口の割合を示す水洗化率は、平均値を下回っており、今後も加入促進の継続が必要である。

2. 老朽化の状況について

①令和6年度の法適用に伴い固定資産の取得価格を再評価したことにより、有形固定資産減価償却率は類似団体平均値を大幅に下回ってはいるが、計画的な更新が必要となる。

②管渠老朽化率は0.00%であるが、計画的な更新が必要となる。

③管渠改善率は、0.00%と過去5年間で更新実績はないが令和6年度から管渠維持管理計画をはじめ、ストックマネジメント計画の調査に着手している。管路自体は比較的新しいので今後はマンホールポンプや高低差のある管渠を中心に調査を行い、計画策定をする予定である。

全体総括

使用料の確保や未収金残高の徴収率の向上、維持管理費の削減等に取り組むとともに、排水処理人口や排水処理需要の的確な把握に努め、建設改良事業、維持管理を計画的に行うこと等により、収支のバランスのとれた健全な経営を目指します。また、効率的な経営体制と施設運用を図るため、事務事業の見直しや職員の技術水準の向上及び人材育成に努めたい。排水施設は、衛生的な生活を確保するための重要な施設です。策定済の最速整備構想を踏まえつつ、施設の状態を確認した上で適切な施設更新を実施していきたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。